

1. 科目名（単位 数）	保健科指導法Ⅰ（4単位）	3. 科目番号	EDHE2347
2. 授業担当教員	河村 明和		
4. 授業形態	◇課題提示→講義→演習・協議等→講義→振り返り など ＜例1＞ 導入：講義から課題の把握→展開（演習）：自分の考えをまとめる →グループでの話し合い→グループの考えを発表→全体での協議 →まとめ：協議と講義のまとめ ＜例2＞演習（課題学習を生かした授業の在り方） 導入：指導法を形にする講義→展開（演習）：課題の調査による解 明→指導案の作成→模擬授業→全体協議→まとめ：模擬授業の成果 とまとめ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	特になし。		
7. 講義概要	(1) 保健科教員を目指す者にとって必要な授業力の基礎を身に付ける内容とする。 (2) 生徒に分かる保健授業の展開を目指し、「教育内容の教材化、指導法、指導案作成」の基礎を身につける。 (3) 保健学習に関する主要な指導法を講義等で理解し、演習・協議等を通じて保健学習の概念を自ら描けるようにする。 (4) 生徒を取り巻く生活環境やライフスタイルの変化による新たな健康課題を学ぶとともに、保健科指導法Ⅱの授業で本格的な指導案が作成できるための基礎的・基本的な資質・力量を養う。		
8. 学習目標	(1) 生徒にとって楽しく分かりやすく学べる保健授業の展開を目指した「教育内容の教材化、指導法、指導案の作成」など、保健科教員を目指す者にとって必要不可欠な基礎・基本となる学力を、試行錯誤しながら実践的に身に付けることができるようにする。 (2) 文部科学省刊「中学校学習指導要領解説 保健体育編」と「高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編」の保健分野・保健科の内容について理解し、説明することができるようにする。 (3) 課題学習の進め方（課題設定の在り方、類型、ディベートの手法を生かした課題学習など）を理解できるようにする。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	平素の講義と学習指導要領解説書並びに教科書を理解し、次の点を予習することにより、確かな力を身に付けることができる。 (1) 次時の学習内容について、教科書を活用して予習することをアサイメントとする。 (2) 健康教育に関する多様な指導法をまとめ、適宜レポートとして提出する。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 森昭三、和唐正勝編著『新版 保健の授業づくり入門』大修館書店。 文部科学省刊『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編 - 平成29年7月』東山書房。 【参考資料】 文部科学省刊『高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編』東山書房 ※ プリント教材等は、毎時の授業時に配布しそれを使用する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1 期待されている保健科教育への対応に関する使命感を養うことができたか。 2 学習指導要領の目標及び内容について理解し説明できるようになったか。 3 知識を活用する学習活動を取り入れるなど、指導方法の工夫ができたか。 ○評定の方法 〔授業への積極的参加度、日常の受講態度、模擬授業、レポート、指導案、基礎的理解テスト等を総合して評価する。〕 1 授業への積極的参加 30％ 2 模擬授業・指導案・レポート 50％ 3 基礎的知識理解テスト20％		
12. 受講生への メッセージ	(1) 学びとは自らの課題を知ることである。その課題を自分の課題として捉えたところから学習は始まる。 (2) 正当な理由のない遅刻、早退、欠席をしないこと。やむを得ず欠席する場合は、書面を提出すること。 (3) 携帯電話の操作、及び私語は厳禁のこと。 (4) レポート、アサイメントについては、指定した日までに必ず提出すること。 (5) 予習するとともに、関心を持って健康教育関係の新聞記事や月刊誌に目を通しておくこと。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	保健学習と保健指導との違いと特質 小学校・中学校・高等学校における保健学習	事前学習	「保健の授業づくりに入門」（以下：教科書）を概観してくる
		事後学習	学校保健の領域について復習する 教材の意義について考えてくる
第2回	保健科の目標 現代社会における保健科教育への期待 教材の意義について考えを発表する	事前学習	保健科の目標について考えてくる
		事後学習	保健科教育への期待について整理する
第3回	教育課程内における保健教育、 青少年の健康問題への対応	事前学習	赤ちゃんポストに関する自分の考えを整理してくる
		事後学習	青少年の健康問題について復習する

第 4 回	保健の授業をつくる 1 (授業の成立、授業が授業となるとき) 簡単な指導の流れを考える	事前学習	教科書 pp. 34～49 を熟読する
		事後学習	授業が成立することについて整理する。 「4 5 歳までの私」を作成する
第 5 回	保健の授業をつくる 2 (授業の 4 要素、授業の三角錐、教材・教材研究とは) 授業の 4 要素を組み込みながら授業の流れを考える	事前学習	教材研究について考えてくる
		事後学習	教材研究の在り方や保健のよい授業について整理する
第 6 回	保健の授業をつくる 3 (子どもの性に向き合う、女性のからだ、男子生徒の性的な悩み、保護者が行う性教育) 「育ちゆくからだとわたし」に関する簡単な授業の流れを考える	事前学習	子どもの性に関する問題について考えてくる
		事後学習	性に関する家庭教育について復習する
第 7 回	感染症に関する授業 1 (感染症と伝染病との違い) 「感染症」に関する簡単な授業の流れを考える	事前学習	感染症と伝染病の違いについて考えてくる
		事後学習	感染症に関する法律を整理する
第 8 回	感染症に関する授業 2 (新型インフルエンザへの対応) 「病気の予防」に関する簡単な授業の流れを考える	事前学習	クロスロードゲームの問題を作成してくる
		事後学習	性教育に関するレポートを作成する
第 9 回	保健の学力と教育内容 1 (健康にかかわる“実践力”を育てる、意志決定と行動選択能力の育成)	事前学習	教科書 pp. 9～18 の熟読をしてくる
		事後学習	保健的教養の形成と 学校教育について整理する
第 10 回	保健の学力と教育内容 2 (学校教育が行うべき保健的教養) 我が国の保健科教育の歴史について簡単な授業の流れについて考える	事前学習	教科書 pp. 19～31 の熟読をしてくる 授業を行うにあたってどのような教材が必要かを考えてくる
		事後学習	我が国の保健科教育の歩みについて整理する
第 11 回	保健の教材づくりとその在り方 1 (我が国の保健科教育の歩み、保健の教材づくりに込めるもの、分かる授業の追究) 導入部分の模擬授業を通して確認する 評価規準の必要性を考える	事前学習	教科書 pp. 138～156 の熟読をしてくる
		事後学習	新旧学習指導要領について比較対照し理解する
第 12 回	保健の教材づくりとその在り方 2 (虫歯予防に関する授業、新しい健康問題への対応) 導入部分の模擬授業を通して確認する 評価計画も併せて考える	事前学習	小学校における虫歯予防指導を保健指導にどのように生かすかについて考えてくる
		事後学習	提示された「指導案」の指導事例を復習する
第 13 回	保健の教材づくりとその在り方 3 (交通安全に関する授業) 導入部分の模擬授業を通して確認する 評価計画も併せて考える	事前学習	交通安全に関する中学校と高等学校の指導内容について、比較してくる
		事後学習	中・高の交通事故防止授業について整理する
第 14 回	保健の教材づくりとその在り方 4 (自転車の安全に関する授業)	事前学習	自転車の安全指導について考えてくる
		事後学習	交通事故の要因とその防止について整理する
第 15 回	保健の教材づくりとその在り方 5 (感染症に関する授業 1 感染症に至るまでの主な要因とその予防。また、抵抗力を高める具体的な対策について。) 導入部分の模擬授業を通して確認する 評価計画も併せて考える	事前学習	「学校における麻疹対策ガイドライン」を熟読してくる
		事後学習	中・高の感染症に関する指導内容について整理する
第 16 回	保健の教材づくりとその在り方 6 (感染症に関する授業 2 法定伝染病の基本的理解とその種類の把握及び学校における対策) 導入部分の模擬授業を通して確認する 評価計画も併せて考える	事前学習	感染症に関する中学校と高等学校の指導内容について、比較してくる
		事後学習	感染症の予防に関する授業について復習する
第 17 回	保健の教材づくりとその在り方 7 (性感染症に関する授業、エイズに関する中学校・高等学校の指導内容比較) 導入部分の模擬授業を通して確認する 評価計画も併せて考える	事前学習	「エイズ患者の両親からの言葉」について考えてくる
		事後学習	中・高のエイズに関する指導内容について整理する
第 18 回	保健の教材づくりとその在り方 8 (エイズ及び性感染症の予防、ハイリスク行動に関する授業) 導入部分の模擬授業を通して確認する 評価計画も併せて考える	事前学習	性感染症の予防について考えてくる
		事後学習	ハイリスク行動について理解を深める
第 19 回	応急手当に関する授業の在り方 1 (病気の応急手当に関する中学校と高等学校の授業) 効果的な教材活用(情報機器を含む)の工夫 評価計画も併せて考える	事前学習	応急手当に関する中学校と高等学校の指導内容について、比較してくる
		事後学習	中・高の応急手当に関する指導内容について整理する
第 20 回	応急手当に関する授業の在り方 2 (熱中症に関する授業) 評価計画も併せて考える	事前学習	熱中症の分類を理解してくる
		事後学習	熱中症から「病気の応急手当」について考える
第 21 回	心肺蘇生法(AEDを含む)の実技演習 1「場に応じた処置の仕方・機械の構造の理解」効果的な教材活用(情報機器を含む)の工夫 評価計画も併せて考える	事前学習	心肺蘇生法と AED 使用上のポイントを理解してくる
		事後学習	おもに AED の意義と手順を理解する

第 2 2 回	心肺蘇生法（AEDを含む）の実技演習 2「AEDにおける実際の実技を通しての理解」効果的な教材活用（情報機器を含む）の工夫 評価計画も併せて考える	事前学習	心肺蘇生法の手順を理解してくる
		事後学習	AEDの使用技術を習得する 「新聞記事を活用した保健の授業構想」についてまとめる
第 2 3 回	保健の指導案づくりの基礎理解 （学習指導案作成の9ポイント） 教材の工夫について発表する	事前学習	教科書 pp. 158～165 を熟読してくる
		事後学習	「指導案作成の9ポイント」をより具体的に理解する
第 2 4 回	授業展開の技術（うまい授業、思考を促す発問） 教材の工夫について発表する	事前学習	教科書 pp. 174～183 を熟読してくる
		事後学習	思考を促す発問について、復習する
第 2 5 回	保健の課題学習（課題設定の在り方、類型、ディベートの手法を生かした課題学習）	事前学習	教科書 pp. 277～298 を通読してくる ディベートを教材の視点から考える
		事後学習	保健の課題学習について復習する
第 2 6 回	保健の指導案づくりとその展開 （学習指導案作成の意義、よい指導案） 効果的な教材活用の工夫	事前学習	指導案の作成意義について考えてくる
		事後学習	指導案事例を参考にして、よりよい指導案についてイメージを膨らませる
第 2 7 回	養護教諭の行う保健授業	事前学習	養護教諭が保健授業を担当することの利点と課題を考えてくる
		事後学習	養護教諭が保健授業を行う場合の留意点等を整理する
第 2 8 回	保健科教諭と養護教諭 まとめ（「私としての保健の授業への思い」）	事前学習	養護教諭の職務領域の変化について考えてくる 「私としての保健の授業への思い」について、構想を練ってくる
		事後学習	養護教諭が保健授業を担当することへの期待について確認する
第 2 9 回	保健学習と保健指導 保健科授業における資料の在り方とその工夫	事前学習	学級活動における保健指導の内容について調べてくる
		事後学習	学級活動の指導の原理・原則を理解する
第 3 0 回	全体の振り返りとまとめ ・保健科教育への使命感の自覚 ・保健体育におけるおもに「保健分野」の目標及び内容についての理解 ・学習した知識を活用して指導方法の工夫 ・保健科指導法Ⅰの内容理解の確認テスト ・知識と実践を想定したレポートの作成	事前学習	「振り返りカード」から、それまでの学びを整理してくる
		事後学習	保健管理も保健教育もできる学校保健の専門家を目指すための決意と覚悟を決める